





街を行く

第124回 桜新町 Sakura-shimmachi

久しぶりに出会った「住みたい街 |

テレビで「サザエさん」を観はじめたの は小学生の頃、以来半世紀以上観て きたことになります。小生は歳を重ね 色々な思い出ができ変化もありました が、当の磯野家は何一つ変わっていま せん。それが魅力であり、心が休まると ころでもあるのでしょうね。

小生なりに昔から磯野家に不思議だな と思うことは多々ありまして、その中で もずっと思い続けているのは、「カツオ は公立小学校なのに、なぜあのような 学生帽を被り登下校しているのかしで す。カツオの友人である中島君も同じ 格好なら校則だと思いますが、カツオ 以外は誰も被っていないからです。それ はともかく、波平やフネ、友達のお軽 さんやその旦那さんの伊佐坂先生も和 服姿であること、磯野家は畳部屋しか ないこと、ノリスケ夫妻が団地で暮ら していることから想像すると、サザエさ んの暮らしている世界は昭和30年代 前半なのでしょう。時代錯誤は感じつ つ観るのが癖になり、番組エンディン グ曲とともに週末が終わった実感が湧 いてくるのは今も昔も変わりません。や はり国民的漫画の代表なのですね。

そんなことを思いながら桜新町をそぞ ろ歩きます。駅の南口から国道246号 までつながる「サザエさん通り」は、漫 画の商店街よりもお洒落でモダンなお 店が沢山。あの八百屋は、魚屋は、花 沢不動産は…、と思わず探したくなり ました。桜新町は作者の長谷川町子先 生が暮らしていた街でもあります。

「長谷川町子美術館」は展示物の入れ 替えで休館でした。仕方なく建物の前 で写真を撮っていましたら声をかけられ



まして、その声の主がなんと館長さん。 残念そうにしている小生を見ていたた まれないと思ったのか、お話を聞かせ て下さいました。話の中で驚いたのは、 元々サザエさんは長谷川先生が博多の ももち浜の近くに住んでいた頃に書か れたので、登場人物が海に関する名前 だということです (知っている方はいま したか?)。

街をさらに歩くと、とても閑静な住宅 が広がっています。住みたい街の上位 にいつもランクされる理由がよくわかり ました。程よく都会で程よく郊外の趣 がある、これって住宅地の一番重要な 要素なのですよ。

駅前に有名なお店が立ち並びモダンさ だけで売っているのとは一味違った落

ち着きがあります。 小生はとても気に入 りまして、思わず大手チェーンの仲介店 舗に入ってしまいました。冷やかしでは なく、真にこの街に住んでも良いと思っ たからなのです。近い将来この街に住 んでいるかもしれませんよ。

南 一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入 社。ローンスター・ジャパン・アクイジショ ンズを経て、2001年エートス・ジャパン・エ ルエルシーを設立。同代表に就任。2005年 4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締 役に就任。2006年ジャパン・アセット・ア ドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。